



故 嶋田甚五郎 先生

公益社団法人日本化学療法学会名誉会員

1936年 3月 11日 生

2024年 7月 1日 逝

故 嶋田甚五郎 先生 ご略歴

---

生年月日 1936年3月11日（東京都生まれ）

【略 歴】

- 1962年 東京慈恵会医科大学卒業  
1970年 東京慈恵会医科大学第三内科学（後に第二内科学）助手  
1979年 東京慈恵会医科大学第二内科学 講師  
1989年 東京慈恵会医科大学第二内科学 助教授  
1991年 聖マリアンナ医科大学微生物学教室 教授  
          聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター臨床薬理部門長兼務

【学会歴・学術講演会歴】

- 1973年 評議員  
1987年 東日本支部幹事  
1994年 第41回日本化学療法学会東日本支部総会 総会長  
1995年 理事  
2001年 第49回日本化学療法学会総会 総会長

## 嶋田甚五郎先生を偲んで

2024年7月1日、嶋田甚五郎先生が88歳でご逝去されました。嶋田先生は1973年から評議員として、1995年から1999年まで理事として日本化学療法学会の発展に大いに貢献されました。また、1994年に第41回日本化学療法学会東日本支部総会、2001年に第49回日本化学療法学会総会を総会長として開催されました。先生の訃報に接し、学会や医療関係者から多数の弔意が寄せられていることから、生前のご業績とお人柄が偲ばれます。

嶋田先生は1962年に東京慈恵会医科大学の上田内科学教室（教授：上田泰）に入局され、その後、特に感染症や化学療法の領域で診療・研究にご活躍されました。1990年には聖マリアンナ医科大学難病治療研究センターが開設される際に、当時センター長であった水島裕先生から招かれ、後に微生物学教室の教授や難病治療研究センター臨床薬理部門長を務められました。

私と嶋田先生の繋がりは、1997年4月に、長崎大学第二内科から当時嶋田先生が主宰されていた微生物学教室に助手として呼んでいただいたことに始まります。当時の私は大学の教員としての第一歩を踏み出したばかりで、まさに右も左もわからない若僧でしたが、先生には教育者・研究者としてのあり方を、優しく、時に厳しくご指導いただきました。先生はとにかく何事にもスマートで、「君、学会に行くのに茶色のスーツを着るとは何事ですか。黒か紺を着なさい」といったように、礼儀のようなことさえも一から教えてくださいました。

写真は私が聖マリアンナ医科大学に赴任して間もない頃のもので、大学の近くにあった明治製菓のグラウンドで、教室員、大学院生、当時教室に出入りされていた先生方、細菌検査室の方達と野球をした時のものです。先生は当時、現在の私と同じ年齢であったはずですが、浚刺と投手を務められていて、普段の物静かな紳士とは違う一面を見て、少し驚いたことを覚えています。

聖マリアンナ医科大学病院感染制御部は2000年に活動を開始しましたが、その設立時の部長が嶋田先生でした。毎週、先生の難病治療研究センターのお部屋に集まったことが懐かしく思い出されます。当時は、まさか24年間も続けることになるとは思いませんでしたが、感染制御部での仕事は私のライフワークになりました。また、先生は在任期間中に様々な学会の学会長を務められ、その度に役者不足ながらプログラム委員や事



務局の仕事を任せていただきました。その際、様々な先生方と一緒にさせていただいたり、学術集会がどのように運営されているのかを学ばせていただいたりした経験が、その後の私の財産になりました。

嶋田先生は、お亡くなりになる少し前まで、聖マリアンナ医科大学病院に入院されておられました。私たちがお見舞いに伺うと、ご指導いただいていた当時のような穏やかな笑顔をお見せになることもありました。病室にはお孫さんの絵画や書がたくさん飾られており、先生のお人柄が偲ばれました。心からご冥福をお祈り申し上げます。嶋田先生、長らくご指導いただき、本当にありがとうございました。

2024年9月

聖マリアンナ医科大学微生物学教室 主任教授

聖マリアンナ医科大学病院感染制御部 部長

竹村 弘